

2009年6月17日

報道関係各位

tobimushi

森は地域の宝もの

(株)トビムシ

東京都千代田区三番町 28 番地

共有の森事業×DAIK（ダイク）プロジェクト始動！

クリエイティブなデザイナーと熟練技術の大工の手で
岡山県西粟倉村の木材が「本物の家具」に生まれ変わる

トビムシ（本社：千代田区 社長：竹本吉輝）は、大工とクリエイターでつくる家具プロジェクト「DAIK（ダイク）」（代表：デザイナー 西田司）とコラボレーションし、「共有の森事業」を展開する地域と連携して、地域の森林木材を活用した家具の制作を開始します。

弊社は、地域資産としての森林の価値を高めることで、持続可能な地域再生の実現を目指し、森林のトータルマネジメントを実施しています。

かつて地域の共有資産であった森林に光を当て、人々が再び森林を活用できる仕組みの構築と運営をめざし「共有の森事業」を立ち上げました。

そして、熱意をもって価値ある森林づくりに挑戦する地域を支援するひとつの手段として、国内初の森林・林業支援の事業ファンドである「共有の森ファンド」を創設し、ミュージックセキュリティーズ（株）を通して岡山県西粟倉村の取り組みに対する出資を募っています。「共有の森ファンド」は地域と都心に住む人々をつなぎ、想いを共有する場となっています。



西粟倉村の森林

そしてこのたび、「共有の森ファンド」につづく地域と都会に住む人々をつなぐ取り組みとして、弊社の「共有の森事業」と、大工とクリエイターでつくる家具プロジェクト「DAIK（ダイク）」がコラボレーションし、「共有の森事業」を展開する地域と連携して、その地域の森林木材を活用した家具を制作するプロジェクトが発足しました。弊社と DAIK は、「地域の価値ある森林とそこに関わる人々の想いをつなげて可視化していく」という互いの共通の想いを実現するため、今回の取り組みに至りました。



DAIK の製品

DAIK を指揮するデザイナーの西田司氏（有限会社オンデザインパートナーズ代表取締役）が中心となり、各地域の熟練した大工、および新進気鋭のデザイナーを加え、日本各地の豊かな森林の資産である木材が、デザインと職人の技術に裏打ちされた「本物の家具」として生まれ変わります。

そして第一弾として「共有の森ファンド」により弊社が取り組みを支援する岡山県西粟倉村の木材を用いた、DAIK プロデュースによる家具が制作されることになりました。

本プロジェクトには、林業を生業としてきた西粟倉村ならではの、木材建築に精通した技術力の高い地元大工の方々が参画し、家具の制作に携わります。

ファンド投資家を対象として、本プロジェクトの限定商品の販売や優先的に商品を購入できる仕組みなど、特典を検討しています。

今後は、「共有の森事業」を展開する予定の地域（自治体、事業体）でも、同様に DAIK との連携を検討していきます。

「共有の森事業」と DAIK のコラボレーションにより、地域の森林の価値が可視化され、地域と都市の人々とのつながりが生まれます。弊社は、多くの人々が地域に関心を持ち、その地域の資産を見直し活用することが、本来的な地域再生の実現へもつながると考えています。

■ 共有の森ファンドについて

西栗倉村における「共有の森ファンド」は、森林不動産または株式等に投資をするのではなく、子や孫の世代のために森林を適切に管理し、活かしていきたいという熱意ある地域を支援するため、施業機械の購入やFSC森林認証費用など、森林の付加価値化につながる事業そのものに投資をする国内で初めての森林・林業支援の事業ファンドです。

多くの志ある方に少しずつ出資いただき、長く地域に関わり応援していただきたいという思いから、出資金額は1口5万円、上限10口、契約期間は10年間と、小口で長期契約のファンドとしています。



ファンドで支援する岡山県西栗倉村

弊社は「共有の森事業」を通じて、地域における森林の施業管理から林材業者への経営コンサルティングやマーケティング支援など、森林・林業におけるトータルマネジメントで地域を支援しながら、ファンドの仕組みを活用して地域と都会の人々の想いをつなぎ、可視化する事業を行っています。

■ DAIK について

日本国内の間伐材や廃材を活用して、デザイナーと大工によりクオリティーの高い家具を制作しているプロジェクトです。



DAIK 代表：西田 司

有限会社オンデザインパートナーズ代表取締役

1976年、神奈川県出身。横浜国立大学工学部建築学科卒。

東京都立大学大学院助手、横浜国立大学大学院助手を経て、2004年に有限会社オンデザインパートナーズを設立。

裏路地のプロジェクトから住宅設計まで、生活デザインを多方面に展開。

2006年より CM プランナー志伯健太郎氏と「メディアパンダ」を結成。

映像、子ども服、家具、アロマなど人間の知覚（五感）をテーマにデザインを実践している。映画監督行定勲氏と共同設計した「ムッシュと夏のスタジオ」で 2008 年グッドデザイン賞受賞他、受賞多数。

以上

※本件に関するお問合せは下記へお願い致します。

アミタ(株) カンパニーデザイン室

広報担当/鎌田・松本

Tel : 03-5215-8274 (直通)

Fax : 03-5215-8278

e-mail : press@amita-net.co.jp